

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		学力向上推進ティーチャー				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	214	計画事業名	児童・生徒の学力向上		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成						[事業開始] 平成19年度	
		[小 柱] (3) 社会を生き抜く力を育てる教育の推進						[終了予定] - 年度	
		[施策] ①個性を生かす学校教育の充実							
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	学力向上推進ティーチャーの配置に関する要綱 等					
	事業対象	区立小中学校生徒・児童							
	事業目的	①主要教科における指導法改善による基礎学力の充実 ②放課後における学習指導の実施による基礎学力の充実 ③課題のある学級への派遣による学習環境の整備							
事業内容	区立小中学校に、主要教科において少人数指導やチームティーチング及び放課後等における希望者への学習指導を行うために、これに従事する講師を配置する。また、課題のある学級に講師を配置し、学習環境を整える。								
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	対象小・中学校数(全校数26)	(校)	26	26	26	26		
		派遣時間数	(時間)	37,444	33,608	36,212	36,740		
	成果指標								
	決算額 (単位:千円)					109,007	108,782	108,326	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				110,691	110,369	110,084	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				17	18	26	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0	
		総経費				110,708	110,387	110,110	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				151	195	133			
一般財源(区負担額)				110,557	110,192	109,977			
前回評価から改善した事項	なし								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	基礎学力に課題がある児童生徒は依然として多く、小中学校ともに本事業講師を活用した学習指導実施へのニーズは高い。定着した事業であり学校現場で必要性は高い。						
	効率性	3	講師業務の閑散期である長期休業期間を勤務対象期間から除外する等、配置校の状況に応じてより高い効果をあげることのできるよう任用形式を工夫し、効率性向上に努めている。						
	手段の適切性	3	配置時数の見直しによって、より学校現場の需要に応じた配置が可能となった。活動報告の確認や授業観察の結果を基に定期的な管理監督を行っている。年2回、本事業参加講師を対象とした研修により指導方法の改善を図っている。						
	目的達成度	2	各校の事業実施計画に基づいた必要派遣時間数の実施をしているが、全国学力調査の結果、全国平均に届いていない教科もある。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
各校の教育方針や地域ニーズに対応した指導方法工夫改善への活用等、各校の特色を生かした教育の展開に有用なため依然として必要性の高い事業であるが、全国学力調査の結果、全国平均に届いていない教科もある。各校の状況を踏まえた人材の投入を検討する等、学力向上につながる効果的な活用方法を実施していく。									